

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	愛媛県	事業実施主体	愛媛県、東温市	地域再生計画名	誰もが安心して働けるまちづくり計画
計画期間	令和３年度～令和７年度	評価責任者	東温市企画政策課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標 1	年間観光入込客の増加	101万人	R元	106万人	R5	77万人	110万人	R7	×	指標 総数	達成 数	新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、令和3年度には61万人まで減少したものの、その後は回復傾向にあり令和5年度には77万人まで増加している。
	指標 2	企業誘致社数の増加	0社	R元	1社	R5	1社	2社	R7	○	4	1	目標を達成しており、今後も引き続き企業誘致に努める。
	指標 3	林業従事者の増加	33人	R元	34人	R5	30人	36人	R7	×			新型コロナウイルス感染症の流行の影響により就業者が極端に落ち込んだが、令和5年度では目標値に届いていないものの回復傾向にある。
	指標 4	素材生産量の増加	7,762m3	R元	8,130m3	R5	8,074m3	8,500m3	R7	×			コロナショックの影響により一時は急激に増加したが、コロナが落ち着いた令和4年度は落ち込み目標値をやや下回るものの回復傾向にある。
②事業の進捗状況		事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
				計画	中間年度 (R5)	最終実績 見込み							
特別措置を適用して行う事業		市道整備事業（整備延長）		1.6km 0.5km 1.6km			計画区間の測量設計業務等を先行して行ったため、当初計画に対し、路線延長から見ると進捗率は、約31%と遅れが伺える。今後は整備業務を中心に事業を行うため、引き続き、計画に則した整備を目指していく。						
		林道整備事業（整備延長）		0.8km 0.17km 0.45km			物価上昇による資材価格と労務費の高騰や残土の状態難から処理施設での処分となるなど工事費増の要因が重なり、進捗に大きく影響している。今後は大幅な事業費の変更とならないよう整備量の見直しを行い整備を進めていく。						
その他の事業		—		—			—						
計画外で独自に実施した事業		スマートインターチェンジ整備事業		大型商業施設、救急医療施設、新たに整備する工業団地などへのアクセス性を高めるため、東温スマートICの整備を行う。			整備を進めてきた東温スマートICは、令和6年3月23日に開通し、地域経済活動の発展や医療活動・災害時の救援活動の支援、観光地へのアクセス向上などが図られ、地域産業、観光産業の活性化が期待されるとともに、安全・安心なまちづくりに寄与することとなった。						
		とうおんツーリズム促進事業		市内の観光資源を活用し、観光客の誘客を図るため、貸切バスを利用して市内の観光施設等の観覧を目的とした企画旅行を主催する旅行者に対して助成金を交付する。			市外から本市を訪問するバスツアーを企画する旅行者に対して助成を行う制度で、令和3年から令和5年の間に22件の助成を行った。						
		重信川サイクリングロード活性化推進事業		重信川サイクリングロード（松山市、東温市、松前町、砥部町）の認知度向上及び周辺地域の活性化を図るため、愛媛県と関係市町が連携してサイクリング事業を実施する。			重信川サイクリングロードの利用促進のための企画を実施するとともに、令和5年度には各市町におけるサイクリングロードマップの作成及び利用者の実態調査を行った。						
		工業団地整備事業		安定した雇用環境づくりと産業機能の充実を図るため、新たな工業団地の整備を行う。			令和3年度に田窪工業団地の整備が完了し、令和5年度から段ボール工場の操業を開始した。引き続き田窪第2工業団地の整備を進めており、6年度完成を目指している。						
		雇用創出奨励金支給事業		市内に工場等を新たに立地した場合で、市内在住者を新たに正規労働者として12ヶ月を超えて継続雇用している企業に対して補助を行う。			実績なし。						
		造林事業		森林が持つ多面的機能を発揮させ、その機能に応じた森林整備を計画的に推進させるため、愛媛県造林事業補助を受けて実施する森林整備事業に対し、市が補助金を交付する。			事業実績として、間伐10.35haと作業道開設2,372mの整備事業に補助金(1,959,497円)を交付した。						
		自伐型林業推進事業		森林の経営や施業を自らが行う低投資、低コストの自伐型林業推進のため、講演会及び講習会を行う。			事業実績として、令和6年3月2日と3日に20名の参加により作業道講習会を開催した。						
③評価方法		東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議において、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行う。											
④中間評価の公表方法		東温市ホームページに掲載する。											
⑤計画全体の総合評価		本地域再生計画では、道整備交付金を活用して市道と林道を一体的に整備することにより、観光地へのアクセス向上及び林業従事者の利便性向上を図り、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークの構築に取り組むことで、市民が安心して働ける、足腰の強い産業構造の構築と就業機会の拡大を目指している。 最終目標の達成には、新型コロナウイルスによる感染症によって一時的に落ち込んだ指標が懸念されるが回復傾向にあり、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。											
⑥今後の方針等		中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容						
		地域再生計画の見直し（有・無）					（林道整備事業）工事費上昇により計画整備量の達成が困難なことから見直しを行う。						
		令和7年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 交付金299,000千円増					（市道整備事業）測量設計等に時間を要し、工事実施が一部最終年度に延期となったことによる令和7年度事業費の増額。 設計検討において工法の見直し等による全体事業費の増額。 （林道整備事業）計画最終年度にあたり、全体予定事業量0.45kmの完了に必要な事業費の増額。						
⑦今後の方針等に対する対応		（市道整備事業） ・令和7年度事業費 認定時246,000千円→見直し後816,000千円（570,000千円（うち交付金285,000千円）増） ・全体事業費 認定時1,109,000千円→見直し後1,344,000千円（235,000千円（うち交付金117,500千円）増） （林道整備事業） ・事業量及び事業費の変更に伴う計画変更の認定申請を予定 ・整備事業量 認定時0.8km→見直し後0.45km ・令和7年度事業費 認定時10,000千円→見直し後38,000千円（28,000千円（うち交付金14,000千円）増） ・全体事業費 認定時100,000千円→見直し後128,000千円（28,000千円（うち交付金14,000千円）増） 【全体事業費（市道+林道）】 ・認定時 1,209,000千円（うち交付金604,500千円）→見直し後 1,472,000千円（うち交付金736,000千円）〔263,000千円（うち交付金131,500千円）増〕											